

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年07月05日

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	貝塚市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強い社会基盤の整備を進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,289	A	5,289	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道整備(汚水)により、下水道処理人口普及率を64.7%(R2当初)から69.7%(R6末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 = (下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)) × 100 86,613人 平成31年度4月1日住民基本台帳より	65%	68%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	貝塚市	直接	貝塚市	管渠(汚水)	新設	汚水管渠整備事業	汚水管布設 200~400、L=30 ,150m 詳細設計	貝塚市						5,289	-	
											小計						5,289		
											合計						5,289		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額 (a)	360	330	267	286	331
計画別流用増 減額 (b)	0	17	6	0	0
交付額 (c=a+b)	360	347	273	286	331
前年度からの繰越額 (d)	0	5	27	15	17
支払済額 (e)	355	325	285	284	348
翌年度繰越額 (f)	5	27	15	17	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり（その3）（重点計画）

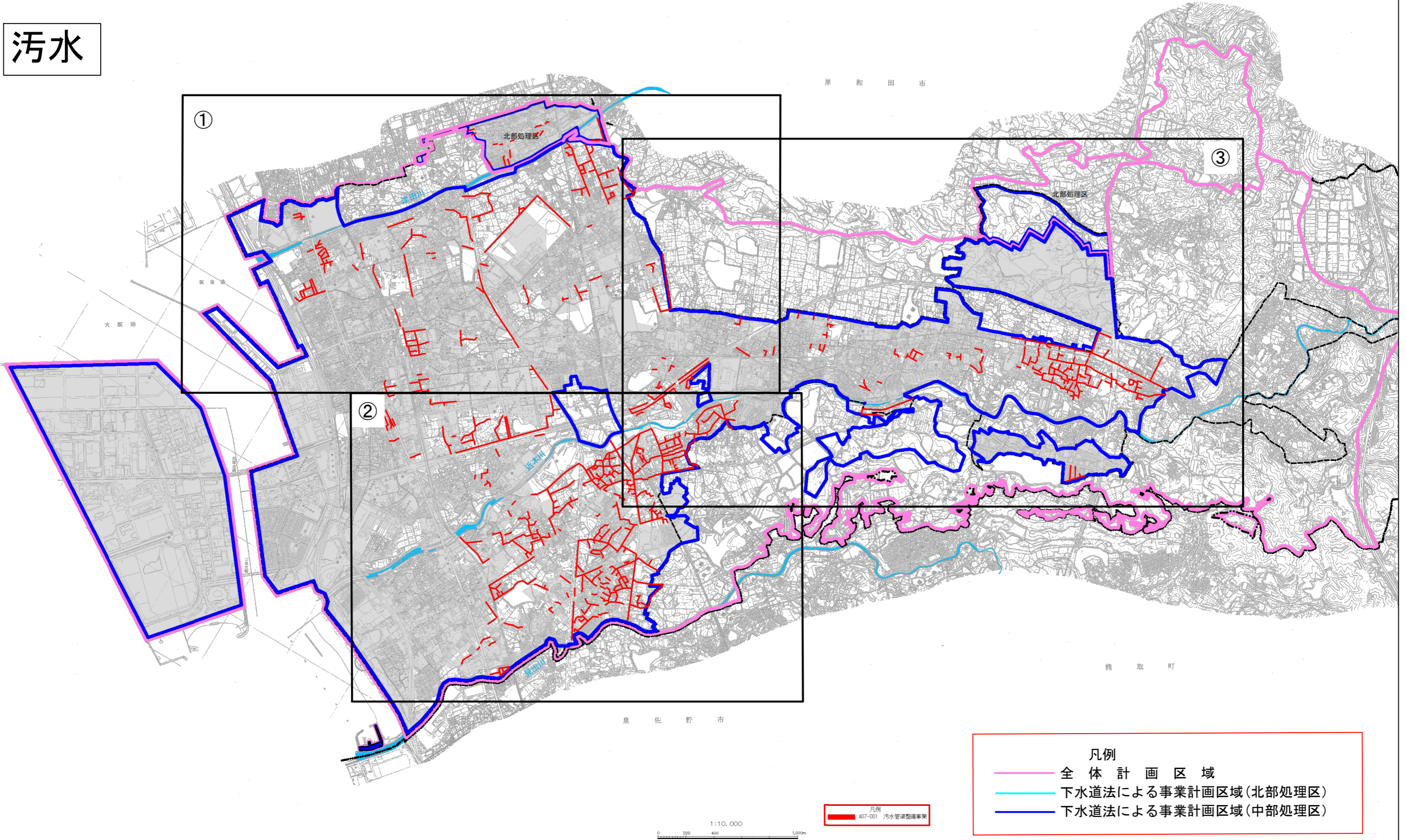
事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 1) 計画の目標が「第5次貝塚市総合計画」など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 2) 「大阪湾流域別下水道整備総合計画」など、上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○



(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)

# 汚水



凡例

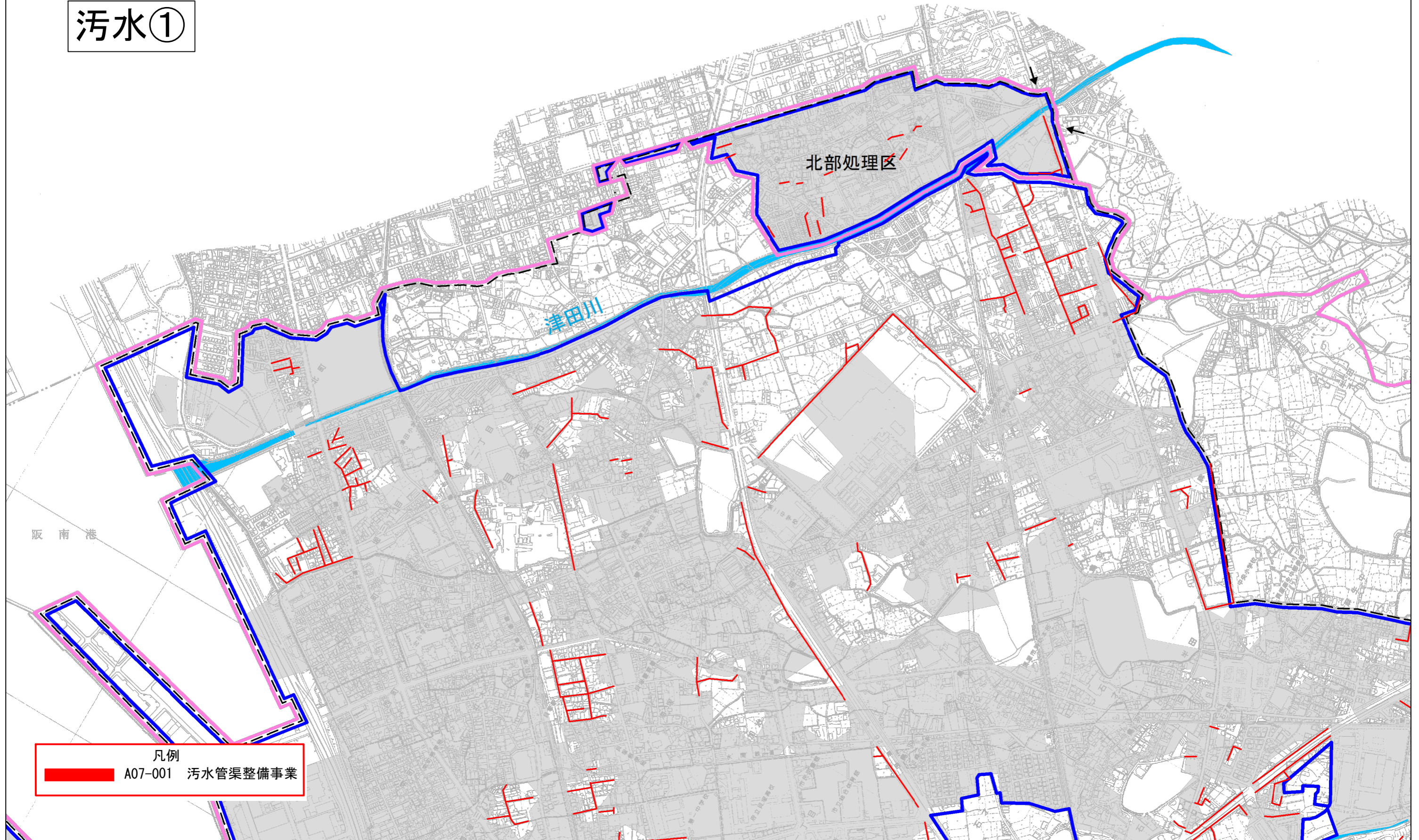
- 全体計画区域
- 下水道法による事業計画区域(北部処理区)
- 下水道法による事業計画区域(中部処理区)

凡例  
A07-001 汚水管渠整備事業

(参考様式3)

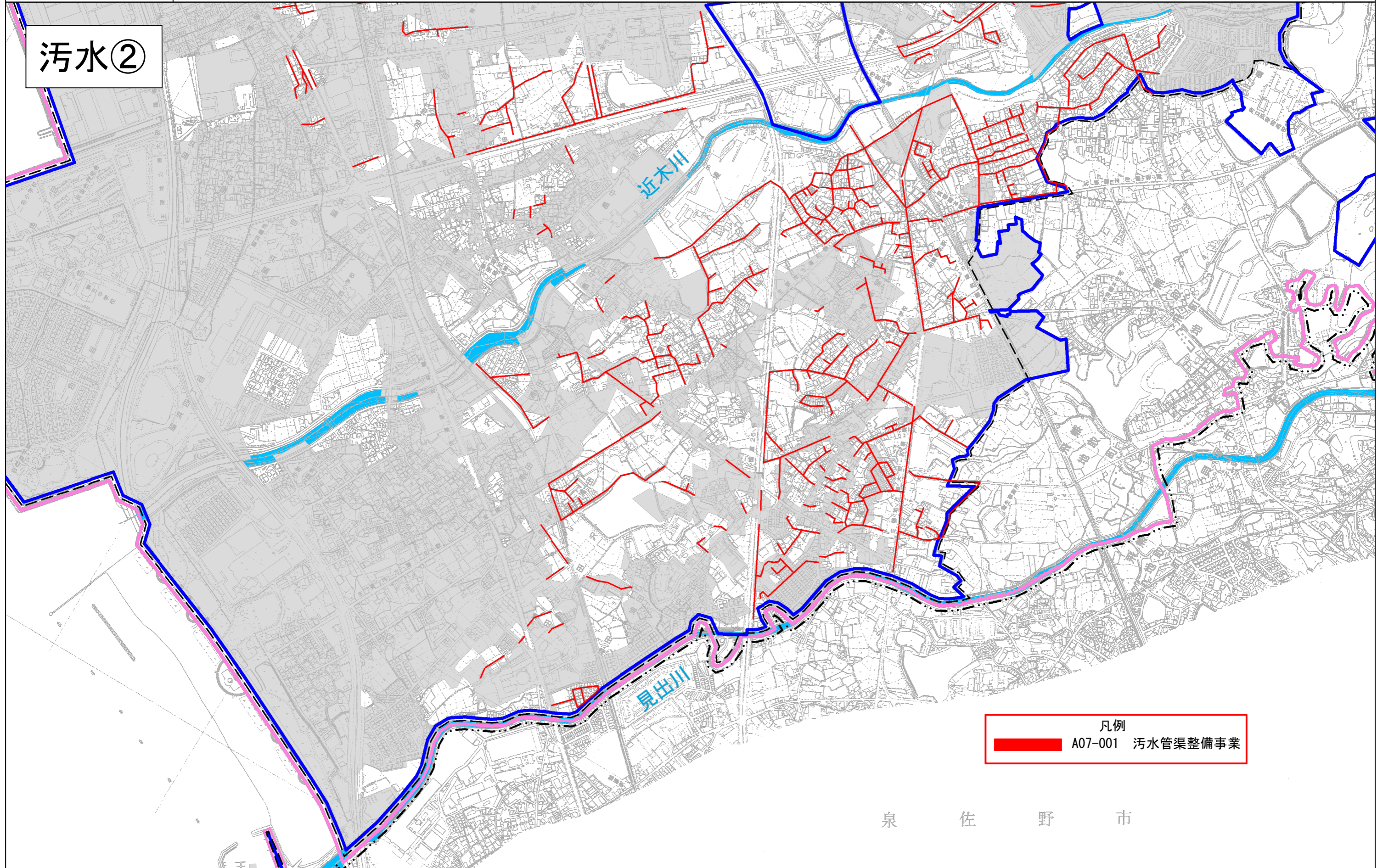
計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)

# 汚水①



(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)



污水②

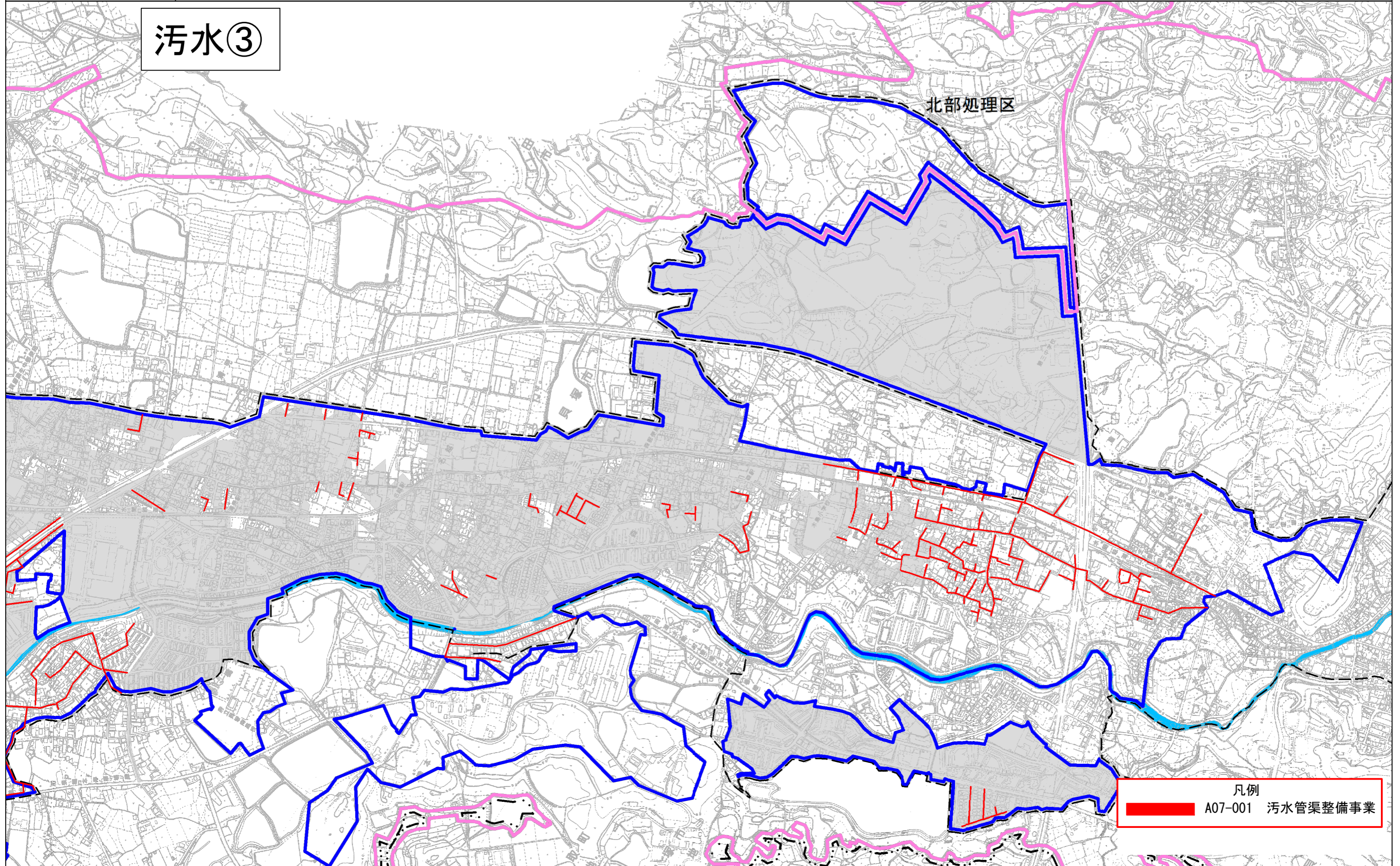
凡例  
A07-001 污水管渠整備事業

泉 佐 野 市

(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)

汚水③



凡例  
A07-001 汚水管渠整備事業